

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 信太 秀紀

副会長 宮内 龍雄

幹事 田中 英子

会計 金子 芳則

2014~2015年度 RIテーマ

ロータリーに輝きを

LIGHT UP ROTARY

2014~2015 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2816号(2014年7月30日発行)

今週のプログラム

「新入会員卓話」

遠山 靖士 会員

小林 昭弘 会員

富永 泰夏 会員

前回の例会報告(7月23日)

点鐘: 信太 秀紀 会長

ロータリーソング: 手に手つないで

会長挨拶



皆さんこんにちは! 本日は旭川にある旭山動物園の小菅正夫園長より伺った、北極の外洋で生活するアザラシのお母さんの子育てについてお話ししたいと思います。アザラシの赤ち

ゃんは、まっ白い毛皮を身に着けて生まれてきますが、これは雪や氷の保護色で外敵から身を守るためなのだそうです。まだ、この段階では10kgしかありませんが、動物界で最も濃いといわれる母乳を飲み続け、わずか2~3週間で、丸々太った30kgに成長します。この頃になると、白い毛皮は抜け始めるのですが、驚いたことに、突然、母親は育児放棄を始めます。母乳もあげなければ何も教えない、近くに寄ってきても知らないふりをします。厳しい北極の外洋で生き抜くためにはこの教育方法しかないそうなのですが、どうやって餌を食べるか教えてもらってないので、子供のアザラシは日増しにどんどん痩せていきます。お腹はすいていても、アザラシは好奇心が強いため何か動くものがあると追いかける、そして口にくわえてみます。その動作を繰り返すうちに、たまたま飲み込むことによって、こうすればおなかを満たされるんだ、ということがわかってくるわけです。つまり好奇心が強いアザラシしか生き残れない、ということなのです。では、好奇心が弱いアザラシはいったい、どうなるのでしょうか? 餌を追いかけることもなく、餓死して、海の底に沈んでいくだけなのです。あらゆる動物は好奇心が強いといわれています。好奇心が弱い種族は滅んでゆくのみであります。私たち人間も例外ではないかもしれません。ましてや好奇心の薄い経営者が、生き残っていけるほど、この世の中は甘くないのではないのでしょうか?



第2790地区

ガバナー 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

広報・会報委員会

宮内 清次、石毛 充、越川 信一、兒玉 英子

幹事報告

【週報拝受】流山 RC、八日市場 RC

1. 2016-17 年度ガバナー候補者推薦のお願い
2. インターアクト年次大会のお知らせ
3. 奉仕プロジェクト委員会ニュースレター 7月号 (第1号)
4. サンパウロ国際大会の開催日程変更の件
5. 地区大会記念ゴルフ WEB 登録サイトのご案内
…ガバナー事務所
6. 普通寄付金：申告用領収証の申請、受付開始について
…(公財)ロータリー米山記念奨学会
7. 2014COM 杯英語・日本語スピーチ大会のご案内
…特定非営利活動法人国際教育推進プロジェクト BeCOM
8. 組織変更の件 …銚子商工信用組合

会員の記念日

◇ 誕生日おめでとうございます

丸山 泰典 会員 (7月19日)



お祝い有難うございます。四十七歳に成りました。今後ともよろしくお祝い致します。

お客様

☆ 交換留学生 飯田 佳奈 様

ニコニコ BOX

☆ 大ニコニコ 岡根 清 会員



先週の例会で 25 年連続例会出席率 100%の記念品をいただきありがとうございます。よく病気も怪我もせず続いたものと自分でもびっくりしています。

☆ 兒玉 英子 会員



7月20日に特別養護老人ホームさざんか園の納涼盆踊り大会を開催いたしました。銚子ロータリークラブの会長・幹事さんがお忙しい中を

ご来園くださりましてお年寄り達もよろこんで居りました。又、御祝いも戴きましてありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

☆ 高瀬 幸雄 会員



飯田佳奈さんの壮行会を本日開催致します。皆様のご協力に感謝申し上げます。

☆ 坂本 尚史 会員



市民ミュージカルの公演が8月23日24日に行われます。ぜひおいで下さい。チケット(割引きで1,000円)もあります。

卓話

= 医療海外ボランティア =

高木 浩一 会員



今回のカンボジア医療ミッションでは、10回目の周年の年となり、総勢50名でのミッションとなりました。例年行っている医療ボランティアに加え、新たな試みとして浄水装置を建設する事業も行いました。

また空飛ぶ車いす事業、保健省表敬訪問、JICA訪問も通年通り行ってまいりました。まずは、浄水装置建設事業についてですが、プノンペンから車とフェリーを使って3時間ほどの場所にあるプレックローバウ学校にて浄水装置建設を行いました。隣接するメコン川は汚れており、清潔な水ではありません。きれいな水を供給することによって病気を防ぐことができるのではないかとこの学校に浄水装置を建設しました。世界中で安全に水道水を飲む事ができる国は何か国あると思いますか。世界196ヶ国で、15ヶ国しかないと言われています。しかし、人体の60%以上は水で構成されていますので、健康面を考えれば、毎日飲む水はとても重要になります。幸いなことに日本では、重要性を意識する必要ないほど、質の高い水が供給

されています。しかし、安全な水が当たり前ではない国や地域がほとんどだということです。今回の浄水装置設置に際して、事前に我々が来る1ヶ月前より JCI カンボジアに依頼して建設をはじめていただいたおかげで、今回のミッション中に完成させることができました。この浄水装置設置については、JICA が、主に現在行っている水の事業についての説明を頂いたことで実現できたと思います。説明して頂いたその内容については、カンボジア主要8都市の無収水率（配水した水に対して料金を徴収できていない水、盗水や配管漏れの指標となる）は非常に低く、特にプノンペンが6.5%とタイやロンドンより圧倒的に低く、「プノンペンの奇跡」と呼ばれる程水道事業支援が成功しているそうです。一方、都市郊外、農村地帯などはいまだ水道の整備は進んでおらず、雨水・井戸水を飲料や生活用水にしているところが多いそうです。井戸水も決して安全ではなく、土壌由来のヒ素が土壌に多く含まれているため、深く掘りまた井戸の側壁を頑丈に作らないといけません。雨水は大きなカメに貯めて飲料やその他に使うのですが、雑菌が繁殖しているため、お腹を壊したり病気になる危険性が高いということでした。続いて、今回の医療ミッションについては、2日間行いました。1日目はプノンペン市内から車で2時間程に位置するソペルマンコル学校とラッセイサマーキ学校に行きました。それぞれ300人程を歯科検診、内科検診、公衆衛生教育、抜歯などの歯科治療を行いました。医療ミッション2日目は浄水装置を設置したプレップクローバウ学校を再び訪れ、700人程を対象に医療ミッションを行いました。ここはモデル校として複数年に渡り調査していく予定なので、フッ素洗口のやり方や意味などを教師にレクチャーし、我々が帰ったあとも継続してフッ素洗口が行える体制を作りました。また、毎年行っております空飛ぶ車いす事業については、「National Borey for Infants and Children」という障害児孤児院を訪問致しました。児童数は120名ほどで、病院に置き去りにされた子供や、この孤児院に置いていかれた子供たちを預かっているのですが、そのほとんどが障害児と※1エイズ孤児です。ここで車いすの寄贈を行いその後施設長と会談しました。現在は子供達に普段使う布おむつや外出用の紙おむつ、大人用の衣服（孤児の年齢は上がっており、成人も多数在籍しているため）が不足しているそうです。国家の予算も足りず、またスタッフも不足しているため、ギリギリの生活を送っているそうです。施設の子供達は皆歯が綺麗で虫歯がなさそうだったので施設のスタッフに質問したところ、おやつが予算の関係上あまり与えられない、毎日2回歯磨きをしてあげているとの事でした。続いて、保健省の訪問では次官で歯科医師、歯科部門の長である方と会談をしました。1970年後半に※2ポル・ポト政権が終わった頃には医師は、20名程度、

歯科医師はひとりもいなかったのですが、1979年より2013年まで、カンボジア国立大学の医科を卒業した人数は、1000名、歯学科を卒業した人数は750名、私立の歯学科も近年出来て、150人の卒業生がいるそうです。来年よりカンボジアと連携した近隣諸国の間で、自由に開業ができるシステムを開始するとの事でした。また、我々の活動の経緯や目的を説明したところ大変興味を示して頂き、来年以降我々の活動を視察したいとお話をいただきました。

今回の医療ミッションについて卓話をさせて頂きましたが、国際奉仕委員会では、フィリピン・ダバオにて9月に行う予定の盲学校チャリティコンサートについても、8月12日からの視察・打ち合わせ、9月のコンサート本番と、ご報告を兼ねての卓話を考えておりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

※1エイズ孤児についての補足説明として、2003年まで、カンボジアの首都プノンペンの北、10数キロに位置する、当時世界一の置屋街と言われていた売春村「スワイパー」が影響しているようです。働いていたのは隣国のベトナム人少女やカンボジアの人身売買での借金返済を理由に買春させられていたことが影響しているようです。しかし1999年ごろからカンボジアも変わってきて、国際社会の厳しい目もあり、「スワイパー」等の目立った置屋街はほとんど壊滅しています。

※2ポル・ポトの補足説明として、1975年首都のプノンペンがポル・ポト率いるクメール・ルージュにより陥落させられ、ポル・ポトによる政権奪取が成りました。ここからがカンボジア人にとって地獄の始まりでした。

まず、ポル・ポトの持っている思想について解説しておきたいと思います。ポル・ポトの思想は「原始共産主義」というものです。共産主義にもいくつか種類がありますが、これはその中でも最も過激な部類であり、階級・格差の無い時代にするという思想でした。本当に格差・階級が存在しないのは、まだ人間が狩猟・採集をしていた頃です。ポルポトはこの人間が狩猟採集していた時代を理想の社会だと考えて、現代の世に原始時代を再現しようとしていたのです。ポルポトは国内から知識人層を根絶することを目指します。なんでそんなことするのかというと、知識は人々の間に格差をもたらすと毛沢東思想では考えられていたことに影響を受けたポル・ポトも「国を指導する我々以外の知識人層は自国には不要」と考えたわけです。

農作業に従事している人に布告が出されます。「医者・教師・技術者・学生だった者は名乗り出てほしい。国の再興には君たちの力が必要だ」とこんな感じの布告でした。当然、該当する人は名乗り出るわけです。「これで辛い農作業から解放される」わけ

ですから、これらの人々は拍手の中、みんなに見送られます。しかし、彼らの中に帰ってくる人は一人もいませんでした。彼らには「再教育」という名の処刑が待っていたのです。

**交換留学生
＝飯田佳奈さん壮行会＝**



激励をする
小田島國博会員→

←
司会をする
高瀬青少年委員長と
佐藤青少年奉仕委員長



←
飯田佳奈さんに
銚子 R C のバナーを
託す信太会長



出席者全員（例会場にて）

会 員 投 稿 欄

＝出前教室（6月13日）を見学して＝

S・A・A 石毛 充 会員
2年前私は第六中学校での出前教室に講師として参加させて頂きました。今回は広報委員として各教室を回り、会報に掲載する写真を撮る傍ら各講師の授業の様子を取材、各教室を回っての取材ですから講義の内容の詳細はよく把握しておりませんが、特に印象に残ったことを記しますと、丸山泰典会員の「誰かに似ているゾ。ダレ？ダチョウクラブ？」の

ヒソヒソ話。桜井公恵会員が持っていた「高知県」と書いてある大きな紙袋。また、宮内龍雄会員が日本刀を抜いて構えている場面。などなど真剣に話に引き込んでいきます。今回の講師の皆さんは、とても素晴らしい。生徒たちは普段とは違った形での授業に出会い、新たな興味を持ったのではないのでしょうか。出前教室の体験を通じて学びの視野が広く深くなり、豊かな人に成長できるのではないかと思います。昨今の教育現場は、いじめ、薬物乱用等たくさんの問題を抱え対策に追われているとの仄聞もあります。ただ教育者に任せるのでは無く地域や家庭で正しい道徳観を教え、健全な自立心を持った子供たちが育つよう環境を整えていくことが急務であると強く感じました。出前教室によって、授業だけではない世界を見せることによって子供たちが「こんなこと知らなかった。こんなに面白いことがあるのだ」と感じとってくれたら成功。今回の出前教室を見学することで、自分にとっても新しい発見、気づき、がありました。今後の人生で実践していきたいと思いました。



【出席報告】

会員総数 44名 出席計算 41名
出席：31名 欠席 10名 出席率 75.60%
欠席：青野君・灰谷君・栢尾君・越川君
松本君・丸山君・宮崎君・大里君
櫻井(公)君・杉山君

【M U】なし

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 17,000	計	¥78,000
スモールコイン	¥ —	計	¥ 6,400
米山 BOX	¥ 3,270	計	¥ 6,770
希望の風	¥ —		¥26,000

次週プログラム（8月6日）
『会員増強・拡大月間に因んで』
島田 洋二郎 会員

お弁当：フランクット（洋食）